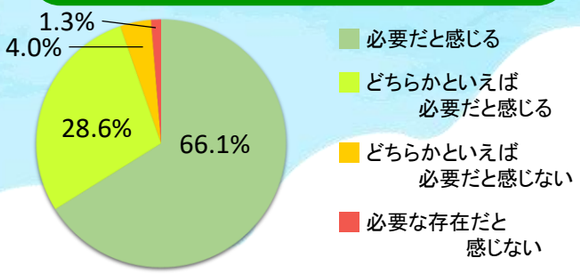
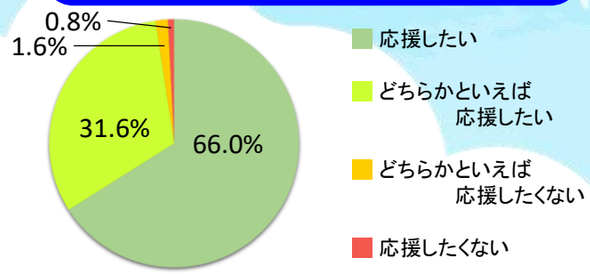
組合員アンケート実施結果

（ 令和元年度 ）

ＪＡの必要性

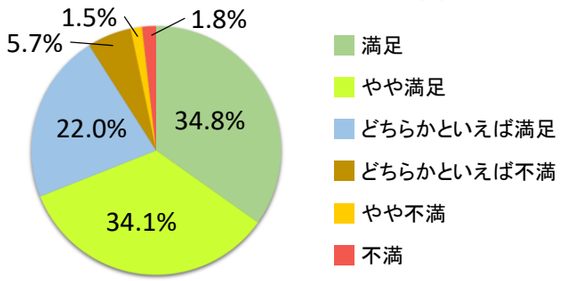


地域農業や地域づくりの応援

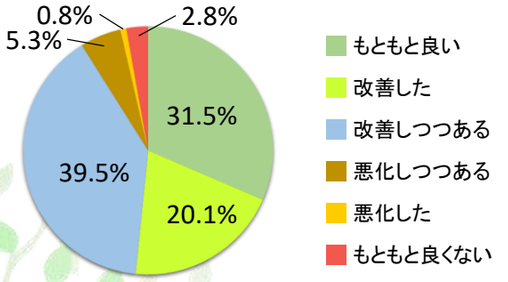


営農指導事業

― 満足度 ―

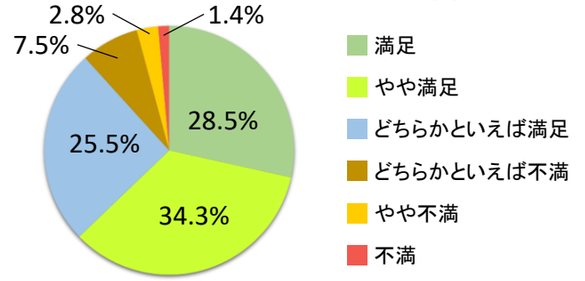


― 事業内容の変化 ―

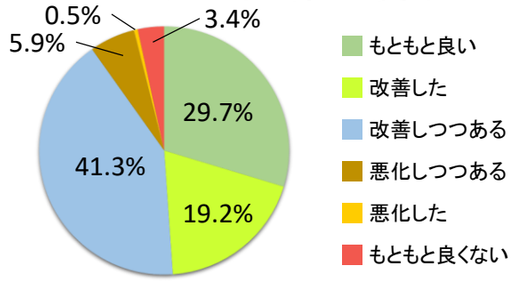


生産資材購買事業

― 満足度 ―



― 事業内容の変化 ―



自己改革　実践方針

JA海部東は、引き続き「組合員との徹底した議論」、「農家所得向上と地域農業振興にかかる取り組み」、「准組合員の農業応援団化の取り組み」を3つの柱として、自己改革の継続を次のように取り組んでいきます。

- ○ 組合員との徹底的な話し合いによって組合員のニーズに応じた営農指導、農地の相談体制の強化、出向く体制の強化による中核的担い手との密な情報共有をこれからも継続的に行ってまいります。
- ○ 営農資材の低廉化、農地集約等を更に進めることにより、生産コストや農家の負担を減らし、農家向けの研修や朝市の支援を行うことにより品質向上と販売促進・地元農産物のPRを行い、農家所得の向上を図ります。
- ○ 准組合員の皆さまに地域農業応援団の役割の理解と協力を求め、地元朝市や産直施設、JA事業の利用による地域農業の活性化と地産地消の促進を図ります。また、農業への理解を深めていただくために、地元の農業有志者とともに稲作体験や農業体験など食農教育活動を行い、地域住民にも農業と交流できる機会をつくります。

自己改革　実践報告

JA海部東の取り組み

「自己改革」とは、政府が推し進めている「農協改革」ではなく、JA自ら地域農業や経営の課題などを組合員とともに解決していく取り組みのことです。

JA海部東は、これまで以下の3つを柱に、将来の農業と地域づくりを目指し、具体的な行動計画、目標などを設定し進捗管理をしながら「自己改革」に取り組みました。

その１
組合員との徹底した議論

その２
農家所得向上と
地域農業振興にかかる取り組み

その３
准組合員の
農業応援団化の取り組み

海部東農業協同組合

ＪＡ海部東 主な取り組み／実績

◇ 意見交換会 ◇

組合員との意見交換を行い、自己改革への理解と協力を求めつつ事業運営に意見を反映しています。

◇ 出向く体制の強化 ◇

営農渉外担当者や支店融資担当者の訪問による営農相談や設備投資への相談などを行っています。

その１

組合員との徹底した議論

その２

農家所得向上と地域農業振興にかかる取り組み

◇ 営農資材 ◇

肥料、農薬、資材などの価格の低廉化や予約購買の助成を行い、生産コストの引下げを図っています。

◇ オリジナル商品 販売 ◇

平成３０年４月より当JAオリジナル商品甘酒「あまの雫」を販売しました。当ＪＡ管内で生産された「あいちのかおり」を原材料にし、米の消費拡大を図っています。

◇ 朝市などの支援 ◇

組合員と地域住民の交流の場として、朝市などの支援を行い、地元農産物のPRに努めています。

「農業講習会」

「農業塾」

◇ 農家向けの研修 ◇

「農業塾」、組合員組織の「農業講習会」などを開催し、農作物の品質と生産性の向上を図っています。

その３

准組合員の農業応援団化の取り組み

◇ 広報誌 ◇

准組合員向けの広報誌などを発行し、地域農業のPRや役割などの周知を行っています。

◇ 農業応援チケット ◇

組合員や貯金予約キャンペーン利用者に朝市やグリーンプラザなどで使える「農業応援チケット」を発行し、地産地消を促しています。

「農業・職場体験」

「甚目寺」

「七宝」

◇ 貸し農園 開園 ◇

当JAでは農業従事者以外を対象とした貸し農園を七宝地区と甚目寺地区に開園し、農業の普及に努めています。

◇ 農業の体験と教室 ◇

「農業体験」、「職場体験」などを通じて、農業に興味を持ってもらい、地域の方へ食と農の大切さを伝えます。

実績

- □ 農業者の事業拡大に貢献するため、営農渉外の指導・相談などに加え、支店融資担当者による農業融資制度の提案・アドバイスなどを行い、設備投資への支援や農業の活性化に繋がる活動に取り組みました。 その１
- □ JA共済の助成金を活用した「農業支援対策事業」を実施し、農業機械や資材などの購入に対して一部助成を行いました。加えて、この事業を行う事で農業従事者の農作業に対する負担軽減を支援し、地域農業の活性化に努めました。 その２
- □ 多収穫品種稲（あきだわら）および麦（きぬあかり）を導入し、収量と稲作以外での水田の稼動期間を増加・効率化させました。 その２
- □ 神守・甚目寺・大治支店の施設内にて朝市を定期的に開催し、地域住民の方々などに新鮮な地元産の野菜を販売し、地産地消の促進を行っております。 その２
- □ 組合員や貯金利用者への奨励品として、産直施設や朝市などで使用できる農業応援チケットを発行し、地域農業の活性化や生産者の農家所得向上を図っています。 その３
- □ 組合員に対し特定農地貸付に関する意見交換・アンケートを行い、貸し農園を開園しました。現在は、七宝地区と甚目寺地区の2か所で開園しております。 その１ その３
- □ 管内向けコミュニティ誌「あまぐりん」や准組合員向け冊子「グリーンパートナー」などの広報誌を定期的に発行し、一人でも多くの方に農業へ関心を持って頂けるように努めています。 その３
- □ 地域の子どもや家族に農業を体験していただき、地域農業に対する応援者の増加に努めました。広報誌に活動の様子を掲載し、多くの組合員から応援の声などをいただいております。 その３

農業体験
- ・食農教育を行うための出前授業
- ・伝統野菜を学ぶための農作業体験
- ・管内小学校への稲作指導・体験農園　など

地産米を管内市町へ寄付
- ・管内の小中学校へ学校給食を通じて地産米を提供